

Muribushi

むりぶし
群星

3月4²⁰²⁶月号

March-April

隔月発行



特集

- 令和8年度 沖縄振興予算案2,647億円
- 「果報庭」・「食のいちゃりば展示商談会」
in 沖縄コンベンションセンター
- 令和7年12月に最低賃金が大幅引上げされました
県内事業者の賃上げをサポートします！
- 農林水産部で働く技術職（農業土木）の魅力
～沖縄の農業を支える農村インフラ整備のプロフェッショナル～

- 1 連載企画 沖縄歴史の散歩道 Vol.23
- 2 特集 1 令和8年度 沖縄振興予算案 2,647 億円
- 6 特集 2 「果報庭」・「食のいちゃりば展示商談会」 in 沖縄コンベンションセンター
- 8 特集 3 令和7年 12 月に最低賃金が大幅引上げされました
県内事業者の賃上げをサポートします！
- 10 特集 4 農林水産部で働く技術職（農業土木）の魅力
～沖縄の農業を支える農村インフラ整備のプロフェッショナル～
- 13 仕事の窓 1 大学生が将来のために「財政」、「金融」について考える ～ in 琉球大学・沖縄国際大学～
- 14 仕事の窓 2 おきなわ花と食のフェスティバル 2026 が開催されました！
- 15 仕事の窓 3 沖縄の冬の風物詩「ムーチャー」について
- 16 仕事の窓 4 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の選定地区をご紹介します
- 17 仕事の窓 5 中小企業活性化フォーラム ～経営危機を乗り越える、経営改善と事業再生への挑戦～
- 仕事の窓 6 沖縄のくらしは、船に支えられている ～「海事教室」 in 若狭小学校～
- 18 仕事の窓 7 県内2団体、国土交通大臣が表彰「わった～バス党」、「伊江島観光バス」
- 19 仕事の窓 8 将来の船員として活躍を期待！ ～中高生を対象に就業体験・体験学習を実施～
- 20 内閣府だより 黄川田大臣の沖縄訪問（令和8年1月13日～14日）
- 21 お知らせ① すべての荷主事業者、物流事業者の皆さまへ 物流効率化法が改正されました！



表紙写真



表紙の写真は、読谷村にある「体験王国むら咲きむら」の琉球ランタンフェスティバルで撮影しました。（令和7年12月28日撮影）

「体験王国むら咲きむら」は、琉球王朝期の街並みを再現した場所で、NHKの大河ドラマ「琉球の風」の撮影が行われた場所としても知られています。

ランタンフェスティバルでは、闇夜に赤く照らされた提灯と琉球王朝時代の街並みがとても幻想的で、どこか異国の香りも漂っていました。中華灯提や和紙灯籠、青森ねぶた職人が作った琉球妖怪など、展示も多彩で、家族みんなで普段とは違った夜の散歩を楽しむことができました。みなさんも機会があれば、ぜひ一度足を運んでみてください。

川田文彦
開発建設部北部ダム統合管理事務所

沖縄歴史の散歩道

◆沖縄史跡の魅力

琉球史研究家の上里隆史氏が沖縄の歴史文化の魅力の本誌上で連載しています。



糸数グスク (南城市)

4年にわたって連載してきた「沖縄歴史の散歩道」。今回で最終回となります。沖縄の史跡の魅力について、これまで巡ってきた場所のなかで特に個人的に印象が残っているものも含め、振り返っていきましょう。

まずは世界遺産にも登録されているグスク。一般的に「城」と考えられていますが、墓そのものであるタカラグスク、神話の聖地のミントングスク(ともに南城市)など様々な形態があり、一言では表せない複雑な様相を見せています。

もちろん見事な石造技術の城壁も見どころの一つです。座喜味グスク(読谷村)は15世紀当時の日本列島では最も完成された城郭であると言えます。また丘陵を這うように城壁が伸びる糸数グスク(南城市)は沖縄版万里の長城と言えるでしょう。

知られざる史跡といえば石碑群があります。魔除けの「石敢當」が有名ですが、梵字碑もまた各地に点在

渡具知の梵字碑 (読谷村)



泰山石敢當 (豊見城市)



漢那ウエヌアタイ遺跡の家型墓 (宜野座村)



百按司墓 (今帰仁村)

も見逃せません。沖縄戦でも残った戦前の建築物も魅力的です。大宜味村役場の旧庁舎は1925年の最古のコンクリート建築で、レトロな景

しています。読谷村渡具知の梵字碑や、珍しいものでは梵字と石敢當がセットになった豊見城の泰山石敢當もあります。浦添市経塚の地名の由来になった金剛嶺碑、国頭村奥間の金剛山碑と南無阿弥陀仏碑なども、意外と沖縄で仏教が受容されていたことがわかる事例です。

沖縄のお墓といえば亀甲墓や破風墓が一般的ですが、それ以外のタイプも存在しているのが興味深いところです。宜野座村の漢那ウエヌアタイ遺跡の木製家型墓は14世紀頃のものでおそらく県内で現存する最古の木造建築物です。今帰仁村の百按司墓も同様ですが、木造の家屋の中に遺骨を安置する古琉球時代のスタイルで、史跡としての知名度はないですが、一見の価値はあります。琉球時代だけではなく、近代遺産



大宜味村役場 旧庁舎 (大宜味村提供)



運天トンネル (今帰仁村)

観を残しています。1919年築の仲尾トンネル(名護市)、1924年築の運天トンネル(今帰仁村)など、古いトンネル巡りもいいかもしれません。このように沖縄にはまだまだ知ら

上里 隆史 (うへぎと・たかし)

琉球史研究家。内閣府地域活性化伝道師。法政大学沖縄文化研究所研究員。早稲田大学大学院修士課程修了。著書に『琉球という国があった』(福音館書店、2020年)、『海の王国・琉球』(ポニーインク、2018年)、『マンガ沖縄・琉球の歴史』(河出書房新社、2016年)、『尚氏と首里城』(吉川弘文館、2015年)など。NHKドラマ「テンペスト」時代考証や、NHK「プラタモリ」案内人などメディアでも活躍。



れていない歴史の場所が眠っています。ぜひ各地に足を運んでいただき、その魅力にふれてみてください。これまでご愛読ありがとうございます。

令和8年度 沖縄振興予算案 2,647 億円

ポイント

- ・「GW2050 PROJECTS」の早期実現に向けた取組の一環として、基地跡地の先行取得等を引き続き強力に推進。
- ・「強い沖縄経済」の実現に向けて、各般の産業振興施策を推進するとともに、物価高騰にも対応。

駐留軍用地跡地先行取得事業費

駐留軍用地の返還後の円滑な跡地利用を見据え、特定駐留軍用地等内における自治体の計画的・継続的な土地の先行取得の取組を支援するため、51億円を計上しています。

駐留軍用地跡地利用推進経費

「GW2050 PROJECTS」を始めとする駐留軍用地跡地の利用推進に向け、自治体の計画策定等の取組を支援するため、5億円を計上しています。

沖縄航空関連産業クラスター形成促進事業

沖縄における航空関連産業クラスター形成に向けて、航空機整備施設の整備に係る設計を支援するため、1億円を計上しています。

新たな沖縄観光サービス創出支援事業

観光関連産業の人手不足解消に資する先進的なDX実証や、地域ブランドデザインの取組の支援のほか、新たな観光サービスの創出に向けた事業可能性調査等を行うため、2億円を計上しています。

持続可能な国際観光景観モデル事業

国際的な観光地としての沖縄にふさわしい「魅せる沿道景観」の整備、持

続可能な維持管理体制の構築等を支援するため、3億円を計上しています。

沖縄農林水産物条件不利性解消事業

沖縄の地理的不利性から生じる流通コストの負担を軽減し、持続可能な流通ネットワークを構築する取組を支援するため、19億円を計上しています。

農林水産物・食品の販売力強化支援事業

県内の農林水産業や食品製造業と沖縄のリーディング産業である観光産業等を繋ぐことで、県産農林水産物の域内流通強化を図るとともに、販売力強化のための課題解決に向けた取組を支援するため、1億円を計上しています。

次世代情報通信基盤実装調査事業【新規】

沖縄の産業振興に向けて、既存のICTインフラを活用しつつ、大容量・低遅延・低消費電力のオール光ネットワーク技術の社会実装による導入効果の調査や具体的なユースケースを実証するため、1億円を計上しています。

沖縄域外競争力強化促進事業

域外競争力を強化し沖縄からの移出増等を図るべく、域外においても高い競争力を有する先進的または沖縄の特色を生かしたもののづくりや、物流のデジタル化を行う中小企業等による設備投資に対する支援のため、8億円を計上しています。

沖縄先端医療技術基盤形成促進事業【新規】

先端医療技術等のシーズの掘り起こしや橋渡し等を通じて、研究開発から社会実装までを支援するため、6億円を計上しています。

沖縄型クリーンエネルギー導入促進事業

離島を含めた県内でカーボンニュートラルの実現に向けた取組を着実に進めるべく、クリーンエネルギーの導入や再エネ化に関する実現可能性調査及びこれらに関する実証事業への支援のため、9億円を計上しています。

沖縄こどもの貧困緊急対策事業

沖縄の実情を踏まえた支援員の配置や居場所づくり等に係る支援のほか、貧困の連鎖を断ち切るという観点から学習・就労支援体制の強化に向けた取組等への支援のため、22億円を計上しています。

沖縄におけるこどものウェルビーイング実現に向けた調査研究等事業

沖縄のこどものウェルビーイング実現を学術的な観点からサポートするための政策研究の効果的な推進体制についての調査・検討や、琉球大学（健康医療拠点における「教育・医療・福祉」等が融合した分野横断的な研究を支援するため、2億円を計上しています。

公共事業関係費等

沖縄の観光や日本とアジアを結ぶ物流の発展、県民の暮らしの向上を支える道路、港湾、空港や、農林水産業の振興のために必要な生産基盤などの社会資本を整備するとともに、学校施設の耐震化や災害に強い県土づくりなどを実施します。

また、令和元年10月の火災により焼失した首里城について、首里城復元のための関係閣僚会議において策定された「首里城正殿等の復元に向けた工程表」に基づき、令和8年秋の正殿の復元に向けた取組等を実施します。
これらに取り組むため、1254億円を計上しています。



首里城正殿（向廊下施工状況）（令和7年12月）

◆道路整備の主要事業

- 一般国道506号
- 那覇空港自動車道 小禄道路
- 事業区間：那覇市鏡水～豊見城市名嘉地延長 ・・・5.7km
- 車線数 ・・・4
- 事業主体：沖縄総合事務局



小禄道路の整備状況（令和8年1月）

◆港湾整備の主要事業

- ①那覇港新港ふ頭地区
ふ頭再編整備事業
- 整備内容：岸壁（水深10m）（耐震）、
港湾施設用地等
- 事業主体：沖縄総合事務局、
那覇港管理組合

- ②中城湾港新港地区
- 国際物流ターミナル整備事業
- 整備内容：岸壁（水深11m）（耐震）、
港湾施設用地等
- 事業主体：沖縄総合事務局

◆空港整備の主要事業

東アジアの中心に位置する那覇空港の地理的な優位性・潜在力を活かし、今後の更なる旅客需要に対応できるように、国際線ターミナルビル前面の高架道路の拡幅整備、空港施設等の機能強化を推進します。

また、那覇空港以外の離島空港も含めて、防災・減災・安全対策、空港施設の老朽化対策を推進します。



那覇港新港ふ頭地区岸壁施工状況（令和8年1月）

**◆農業農村整備の主要事業
（国営かんがい排水事業）**

- ①宮古伊良部地区
- 整備内容：地下ダム新設2ヶ所
貯水池新設1ヶ所
揚水機場新設1ヶ所
用水路新設55km
- 事業主体：沖縄総合事務局



農業用水管施工状況（石垣島地区）



保良地下ダム施工状況（宮古伊良部地区）

③多良間地区

- 整備内容：集水池新設・改修5ヶ所
揚水機場新設・改修10ヶ所
用水路新設・改修24km
水管理施設1式
- 事業主体：沖縄総合事務局

②石垣島地区

- 整備内容：ダム改修5ヶ所
頭首工改修3ヶ所
揚水機場新設・改修6ヶ所
用水路新設・改修10.5km
- 事業主体：沖縄総合事務局

沖繩振興一括交付金

沖繩の実情に即してよりの確かつ効果的に施策を展開するため、沖繩振興に資する事業を県が自主的な選択に基づいて実施するための一括交付金として、736億円（ソフト交付金347億円、ハード交付金390億円）を計上しています。



ICTを活用した村営塾（北大東村）



沖繩都市モノレール及び車両基地

北部振興事業（非公共）

県土の均衡ある発展を図る観点から、北部地域における自立的発展を図るべく、北部地域の一層の連携を促進し、産業振興や定住条件整備のほか観光振興の更なる発展に資する事業について支援するため、50億円を計上しています。



沖繩北部地域救急・救助ヘリ運航事業

沖繩離島活性化推進事業

沖繩の離島市町村が実施する、条件不利性の克服・持続可能性向上の取組等への支援や、小規模離島町村を対象とした子育て支援を実施するとともに、教育環境向上の取組への支援を新たに実施するため、33億円を計上しています。

沖繩小規模離島生活基盤整備推進事業

電気事業者が実施する沖繩の小規模離島を結ぶ海底送電ケーブル（一部光ファイバー通信線を含む）を整備する事業等を支援するため、7億円を計上しています。



定住促進住宅の整備（与那国町）

沖繩離島住民交通コスト負担軽減事業

県内離島住民等の割高な移動費の負担を軽減する取組を支援するため、28億円を計上しています。

沖繩離島無電柱化緊急対策事業

沖繩の離島における無電柱化を推進するため、3億円を計上しています。

沖繩科学技術大学院大学（OIST）学園関連経費

研究力の強化のための取組、更なる産学連携やスタートアップ創出に向けた施設設備の整備等を支援するため、200億円を計上しています。



インキュベーション施設の整備（OIST）
（詳細は二次元コードを参照）



沖繩振興特定事業推進費

一括交付金（ソフト交付金）を補完し、特に沖繩の自立的発展に資する事業であって、機動性をもって迅速・柔軟に対応すべき市町村等の事業を推進するため、95億円を計上しています。

令和8年度沖縄振興予算案

(単位：百万円、%)

事 項	令和8年度 予算(案)	前年度 予算額	対前年度比	
			増△減額	比率
1 公共事業関係費等*	125,418	125,839	△ 421	99.7
(1) 公共事業関係費*	122,384	121,843	541	100.4
(2) 沖縄教育振興事業費	3,034	3,996	△ 962	75.9
2 沖縄振興交付金事業推進費	73,642	72,143	1,499	102.1
(1) 沖縄振興特別推進交付金	34,659	34,159	500	101.5
(2) 沖縄振興公共投資交付金	38,983	37,984	999	102.6
3 沖縄科学技術大学院大学学園関連経費	20,035	20,082	△ 47	99.8
(1) 沖縄科学技術大学院大学学園運営費	19,217	18,879	338	101.8
(2) 沖縄科学技術大学院大学学園施設整備費	818	1,202	△ 385	68.0
4 駐留軍用地跡地先行取得事業費	5,050	6,780	△ 1,730	74.5
5 沖縄北部連携促進特別振興事業費	5,000	4,950	50	101.0
6 沖縄離島活性化推進事業	3,270	3,080	190	106.2
7 沖縄離島住民交通コスト負担軽減事業	2,832	3,072	△ 240	92.2
8 沖縄こどもの貧困緊急対策事業	2,196	2,073	123	106.0
9 沖縄農林水産物条件不利性解消事業	1,855	2,045	△ 190	90.7
10 沖縄産業競争力強化・人材育成推進事業	1,094	1,340	△ 246	81.7
(1) 沖縄域外競争力強化促進事業	751	971	△ 220	77.4
(2) 新たな沖縄観光サービス創出支援事業	159	160	△ 1	99.5
(3) 沖縄型産業中核人材育成・活用事業	184	210	△ 25	87.9
11 沖縄型グリーンエネルギー導入促進事業	862	919	△ 57	93.8
12 沖縄小規模離島生活基盤整備推進事業	747	747	0	100.0
13 沖縄先端医療技術基盤形成促進事業	602	0	602	(皆増)
14 駐留軍用地跡地利用推進経費	459	205	254	223.9
15 沖縄型スタートアップ拠点化推進事業	420	360	60	116.7
16 沖縄・地域安全パトロール事業	382	421	△ 39	90.8
17 持続可能な国際観光景観モデル事業	296	280	16	105.7
18 沖縄離島無電柱化緊急対策事業	266	266	△ 0	99.9
19 沖縄におけるこどものウェルビーイング実現に向けた調査研究等事業	174	174	△ 0	99.9
20 沖縄航空関連産業クラスター形成促進事業	129	74	55	174.0
21 沖縄国際交流体験促進事業	105	99	6	105.6
22 沖縄持続可能な交通環境構築推進事業	100	80	20	125.0
23 農林水産物・食品の販売力強化支援事業	96	96	0	100.0
24 沖縄県産酒類製造業者の自立的経営基盤の構築に向けた調査	83	100	△ 17	83.2
25 次世代情報通信基盤実装調査事業	80	0	80	(皆増)
26 鉄軌道等導入課題詳細調査	80	80	0	100.0
27 沖縄黒糖販売力強化支援事業	40	40	0	100.0
28 沖縄県内の金融機関等のスタートアップ支援に係る目利き力向上事業	33	23	9	140.7
29 戦後処理経費	2,940	2,796	144	105.2
(1) 沖縄不発弾等対策事業	2,831	2,671	160	106.0
(2) 対馬丸平和祈念事業	42	52	△ 10	80.5
(3) 位置境界明確化経費	7	6	1	112.7
(4) 沖縄戦関係資料閲覧室事業経費	12	7	4	160.1
(5) 沖縄所有者不明土地対策事業	48	0	48	(皆増)
(6) 所有者不明土地問題対策経費	0	59	△ 59	(皆減)
30 沖縄振興開発金融公庫補給金	955	955	0	100.0
31 沖縄振興開発金融公庫出資金	100	100	0	100.0
32 沖縄振興特定事業推進費	9,500	9,500	0	100.0
33 沖縄振興推進調査費	50	0	50	(皆増)
34 その他の経費	5,807	5,470	338	106.2
合 計*	264,698	264,189	509	100.2

(注) 四捨五入の関係で、合計等は必ずしも一致しない。

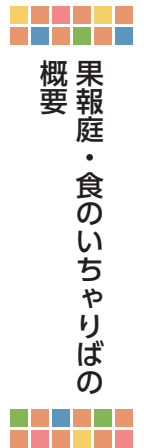
*自動車安全特別会計空港整備勘定上分を含む。

令和8年度沖縄振興予算案については、以下のホームページもご参照ください。
<https://www8.cao.go.jp/okinawa/3/33.html>

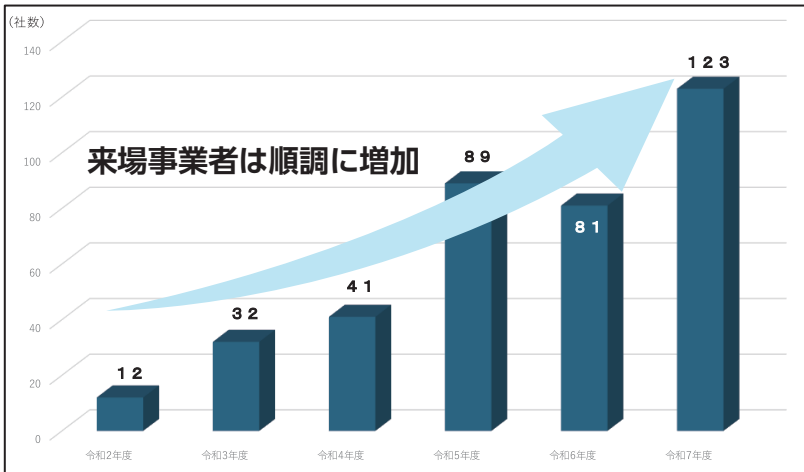
「果報庭」・「食のいちやりば展示商談会」 in 沖縄コンベンションセンター



沖縄総合事務局経済産業部・農林水産部では、沖縄県産の商品・サービスや県産農林水産物・食品について、県内の観光事業者等の皆様に知っていただくことで、販路拡大や生産力強化につなげていくことを目的として、令和8年1月20日にコンベンションセンター展示棟にて、ホテルアミニティやアクティビティなどの非食品関連サプライヤーが出展する「果報庭」、県産農林水産物やその加工品などの食品関連サプライヤーが出展する「食のいちやりば展示商談会」を合同開催しました。



果報庭・食のいちやりばの概要



来場事業者は順調に増加

来場事業者数の推移

当日は、果報庭、食のいちやりば展示商談会合わせて、79者が出展し、県内の観光事業者（宿泊業、飲食業、小売業、卸業等）のバイヤーなど、123事業者・227人にご来場いただきました。コロナ禍において来場事業者は低迷していましたが、コロナ収束後の令和5年度以降は、果報庭と食のいちやりばを合同開催し、サプライヤーの参加が増加したことに伴い、来場者数は増加し、今年度は過去最高となっております。

◆ 果報庭

果報庭の出展したサプライヤーは、風化造礁サンゴを活用した多機能な衣服の製造やタマヌオイル、沖縄海洋深層水を使用した石鹸、アダンや月桃を加工した民具、やちむん、紅型など沖縄らしい商品を提案したほか、特設ブースでは、奄美大島の黒糖焼酎、奄美大島が発祥の地である、本場奄美大島綿で製造されたかりゆしウェア、ホテルの歯ブラシ等を水平リサイクルしている、アミニティ・リサイクル協会の取組が紹介されました。



令和7年度
食のいちやれば
展示商談会
～沖縄の恵みを味わう「食」との出会い～



◆食のいちやれば

食のいちやれば展示商談会に出展したサプライヤーは、人参、島らっきょう、レタス、バナナやエディブルフラワー（食用花）などの県産農産物、県産食材を使用したペースト、ジャム、調味料、果汁飲料やアイスクリームなどの加工品、県産米から作られた泡盛等の商品を提案し、来場したホテルや飲食店等のバイヤーにPRを行いました。

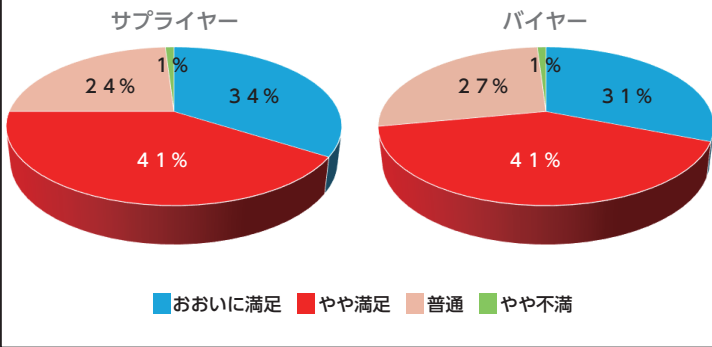


参加したサプライヤー・バイヤーの声



参加したバイヤーからは、「オリジナルの商品を探しており、対応いただけそうな出展者を見つけた」、「ホテルのシヨップなどにも置きそうな商品ばかりで良かった。」（果報庭）、「県産の新しい食品、生産者との繋がりが欲しかったので話せて良かった」、「試飲や試食などその場で試せてとても良かった」（食のいちやれば）などの声がありました。また、サプライヤーからは、「普段商談ができないホテル様とお話ができて良かった」、「来場者からの質問で自社の商品をこんな形で提案

果報庭参加事業者の高い満足度



果報庭参加事業者の満足度



できる事を逆に教えてもらった」（果報庭）、「後日商談のアポが取れた」、「新規の取引先や商品提案の出口が見つかった」（食のいちやれば）、といった今後の取引につながる声が寄せられました。沖縄総合事務局では、今後も県産品の魅力を発信し、沖縄の各種産業の発展に繋がる取組を実施してまいります。また、果報庭に参加したサプライヤー！バイヤーに対して、本イベントの満足度に関してアンケートを実施したところ、「おいに満足」「やや満足」は7割を超える結果となり、双方にとって有意義な商談会となりました。



「果報庭」お問合せ先

経済産業部 中小企業課

☎098-8666-1755

果報庭について

（沖縄総合事務局HP内）



「食のいちやれば展示商談会」お問合せ先

農林水産部 食料産業課

☎098-8666-1673

食のいちやれば展示商談会について

（沖縄総合事務局HP内）



令和7年12月に最低賃金が大幅引上げされました

県内事業者の賃上げを サポートします！

令和7年12月1日から、沖縄県の最低賃金は時間額 **1,023円**に引き上げられました
前年度から71円の引き上げとなり、沖縄県では過去最大の引き上げとなります

賃上げの促進・課題

現在、政府では、「賃上げを起点とした成長型経済の実現」に向け、2029年度までの5年間で、日本経済全体で年1%程度の実質賃金上昇の実現を目指し各種取組を推進しています。

この実現に向けては、中小企業・小規模事業者の賃上げが重要となりますが、原材料・エネルギー価格の高騰等の要因で、中小企業・小規模事業者の賃上げは依然として厳しい状況となっています。

さらに、最低賃金が過去最大の引き上げ幅になる等、事業者にとっては賃上げ原資確保のため、価格転嫁や業務効率化・生産性向上など経営見直しの重要性が高まっています。

その賃上げを促進するため、価格転嫁・取引適正化、生産性向上、事業承継・M&Aによる経営基盤強化等に対応する支援を強化しています。

賃上げの支援

人材確保や競争力強化の観点からも地域経済の好循環を支える中小企業・小規模事業者の賃上げは重要となります。

そのため、各種支援策により、その実現を支援してまいります。

(1) 価格転嫁対策

賃上げ原資確保に向けた価格転嫁対策の強化として、取引適正化法等の着実な執行に加え、発注側

企業等における取引慣行の改善を促し、また、幅広い業界での取引適正化の要請・働きかけを継続して行つてまいります。

(2) 補助金等による支援

企業の生産性向上を推進する中小企業省力化投資補助金や中小企業デジタル化・AI導入支援事業、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金などは、賃上げ特例の措置があり、補助金を活用する事業者の賃上げを後押ししています。さらに、中小企業向け賃上げ促進税制では、一定の要件を満たして賃金を引き上げた場合、増加額の一部を税額控除することが可能です。

(3) 相談窓口

また、小規模事業者の販路開拓等を支援する持続化補助金や、新市場・高付加価値産業への進出にかかる設備投資等を支援する中小企業新事業進出補助金などで、新たな事業展開についての支援も行います。

沖縄県よろず支援拠点等の相談窓口において、相談を受けつけるとともに、内容に応じ、各相談窓口連携のもと対応いたします。

補助金

中小企業省力化投資補助金

売上拡大や生産性向上を後押しするために、人手不足に悩む中小企業等に対し、省力化投資を支援します。



補助金

中小企業デジタル化・AI導入支援事業 (デジタル化・AI導入補助金)

業務の効率化やDXの推進、セキュリティ対策のためのITツール等の導入費用を支援します。



補助金

中小企業新事業進出補助金

既存の事業とは異なる、新市場・高付加価値産業事業への進出にかかる設備投資等を支援し、新事業への挑戦を促進します。



補助金

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

中小企業・小規模事業者等の生産性向上や持続的な賃上げに向けた新製品・新サービスの開発に必要な設備投資等を支援します。



税制

中小企業向け賃上げ促進税制

中小企業等が一定の要件を満たした上で賃金引き上げを行った場合、その増加額の一定割合を税額から控除できる制度です。



法律改正

下請法は「取適法」に改正されます

令和8年1月1日の取引適正化法が施行に伴い、協議に応じない一方的な代金決定等が新たに禁止行為となります。



賃上げ支援キャラバン沖縄開催

中小企業庁と沖縄総合事務局は、中小企業・小規模事業者の賃上げ支援に向けた施策広報を目的として、令和8年1月29日に「賃上げ支援キャラバン沖縄」を開催しました。

本キャラバンでは、冒頭に、赤澤亮正経済産業大臣から企業の賃上げについての力強いメッセージをいただき、その後、関係機関から、令和7年度補正予算で措置された賃上げ支援施策を紹介しました。キャラバン終了後は、賃上げに取り組む企業に対し、専門家による個別相談会を開催しました。

今後も、商工会・商工会議所、金融機関、よろず支援拠点などの地域の支援機関と連携し、県内中小企業・小規模事業者に寄り添った伴走支援を二層強化するとともに、賃上げに向けた環境整備を後押しします。



賃上げ支援キャラバン沖縄の様子



赤澤大臣のビデオメッセージ

補助金活用事例・相談窓口対応

● 中小企業省力化投資補助金

沖縄県中小企業団体中央会では、中小企業省力化投資補助金のインフォメーション窓口を設置しています。

本補助金は、簡易な申請で即効力が期待される「カタログ型」と、オーダーメイドで事業内容に合った設備・システムが導入できる「一般型」があり、県内では、これまでカタログ型を18事業者、一般型を37事業者に活用いただいています。カタログ型の導入事例として、飲食業・サービス業で、券売機導入により注文・会計等を業務効率化することで省力化を達成し、賃上げ原資の確保に繋がるといった取組があります。また、宿泊業や生菓子製造業において、スチームコンベクションオーブンの導入により調理従事者数を減らし、料理提供の時間短縮や新メニュー開発などのサービス向上に繋がった事例もあり、収益拡大による従業員賃金の引上げに取り組むことが可能となります。

補助金の活用について、お気軽にお問い合わせください。

お問合せ先

沖縄県省力化補助金事務局
インフォメーション窓口
☎098-894-2338

● 沖縄県よろず支援拠点

「沖縄県よろず支援拠点」は、中小企業・小規模事業者等の経営上のあらゆるお悩みの相談窓口として、国が全国47都道府県に設置している無料の経営相談所です。

賃上げのご相談にも対応しており、よろず支援拠点の専門コーディネーターが、売上拡大、経営改善、働き方改革支援、資金繰りなどの様々な角度から課題を捉え、課題解決に向けて事業者に寄り添います。

昨年の最低賃金の大幅な引き上げにより、賃上げ原資の確保や経営見直しなどの対応に悩む事業者からの相談も増加しています。専門コーディネーターが丁寧に対応しますので、お気軽にご相談ください。

お問合せ先

沖縄県よろず支援拠点
☎098-851-8460



当局では、賃上げに関する特設サイトを設置しています。また、中小企業庁ミラサポプラスのサイトでは、賃上げに必要な人件費の増加額が計算できるツールが掲載されています。
お困りのことがございましたら、各種支援策及び相談窓口を積極的にご利用ください。

沖縄県内事業者のための支援情報 支援情報 配信済

企業の賃上げをサポートします!

補助金

税制

法律

相談窓口

令和7年12月1日(月)から **1,023円** 沖縄県最低賃金

中小企業庁

賃上げて会社も社員も強くなる!

売上UP!

人材定着 生産性向上



本件お問い合わせ先

経済産業部 政策課
☎098-866-1726



農林水産部で働く技術職(農業土木)の魅力

～沖縄の農業を支える農村インフラ整備のプロフェッショナル～

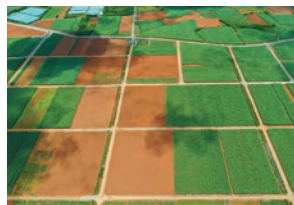
技術職(農業土木)とは

技術職(農業土木)は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「農村環境」を未来の沖縄の子どもたちに継承するというミッションをもち、農業の生産性向上や農村地域の活性化に寄与すべく、業務に取り組んでいます。

具体的には、農業生産基盤を整備することによる農業の成長産業化や、頻発化・激甚化する災害に備え、老朽化した農業水利施設を更新することによる農村の強靱化に取り組んでいます。また、多面的機能を発揮する沖縄の農村に、多様な人が住み続けられるよう、各地域の特性や資源を活用した農泊や六次産業化、農福連携等を推進しています。



農福連携



農地の大区画化(宮古島)



六次産業化



かんがい施設の整備(石垣島)

大規模プロジェクトに従事

技術職(農業土木)が担う業務は多岐にわたりますが、現在、宮古島と石垣島で進められている大規模プロジェクトにも携わっており、現場の最前線で活躍しています。

宮古島(宮古伊良部農業水利事業)では、島全体に必要な農業用水を確保するため、2つの「地下ダム」を建設中であり、その他に揚水機、用水路等のかんがい施設を整備し、農業用水の安定供給を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定化を目指しています。



地下ダム(仲原)



トンネル(NATM工法)

また、石垣島(石垣島農業水利事業)では、老朽化したダムや頭首工などの農業水利施設を更新するとともに、新たに石垣島北部・西部地域へ農業用水を供給するため、配水池や揚水機場等のかんがい施設を整備しています。



配水池(桃里)



揚水機場(大浦)

職員の業務内容

先ほど紹介した大規模プロジェクトに従事し、農業水利施設を建設する事業所で働く職員の業務内容を簡単に紹介します。

農業水利施設を建設するためには、必要な地質や水量の調査を行い、現場条件を把握した上で、施設を設計します。職員自ら調査や設計を行うのではなく、地質調査業者や設計コンサルタント業者に業務を発注します。そして、経済的かつ良質な設計成果が得られるように、業者や施設管理者、地元農家等と調整します。



設計コンサルタントとの打合せ



施設管理者（土地改良区）との調整

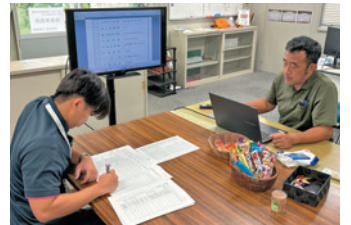
得られた設計成果を基に、積算（施設を建設するために必要な工事費用を算定すること）や工事仕様書を作成し、建設業者に工事を発注します。

発注後は、工期内で工事を完成できるように、業者と工程会議を行います。また、現場で施工状況を確認したり、設計図や仕様書に示す品質や寸法を現地で確認しています。



地下ダムくじら

仕事の魅力



工程会議の様子



現地立会（ポンプ設備）

石垣島の「大高地区」の農地に農業用水が供給され始め、散水式が行われた際には、「畑に農業用水が供用されることで、水管理労力が1/4、水代が約1/14になり、大幅なコスト縮減が見込まれる」と嬉しそうに話す農家の笑顔を見ることができました。このことが技術職（農業土木）の仕事の魅力の一つと言えます。また、最前線である沖縄の農村地域に直接赴任し、その地域で育まれてきた文化や歴史、自然を肌で感じながら、豊年祭やハーリーに参加するなどして、農村地域を農家や関係者とともに、盛り上げていくことにも大きなやりがいがあります。



散水式でカチャーシーを踊る出席者



地域の祭（水まつり）



職員の声

「元気がいっぱい、誇りをもって、前向きに！」

（宮城 もも）

私は入局して2年目になりました。国の事業を進める責任は大きいですが、その分やりがいも大きく、新しい発見の毎日です。担当する業務では、机上の仕事ばかりではなく、実際に現場に足を運び、農家さんや地域の方々と話しながら仕事を進めるので、コミュニケーション能力も必要だと実感しています。また、工事現場では、図面が施設として建設される過程を間近で見ることができると本当に面白いです。地下ダムは地図には残りませんが、農家の皆さんの記憶に残り、宮古島の未来の農業を支えるという誇りを持って、これからも頑張りたいと思います。

『大変さもある。でも、ここでしか味わえない日々がある。』

（取瀬 竜馬）

現場で責任ある仕事に取り組み日々は決して楽ではありませんが、離島ならではの自然と文化に囲まれた暮らしが待っています。石垣島では竹富島や西表島など離島めぐり、宮古島では「宮古ブルー」の海でマリンスポーツを満喫。離島と聞くと僻地のイメージがありますが、家電量販店もあり生活環境は充実。さらに、世界有数のダイビングスポットや満天の星空観測といった自然の魅力も。離島手当や住居手当で物価の高さもカバーでき、仕事とリゾートライフを両立できます。



マンタとの遭遇（石垣島）



宮古ブルー（宮古島）



満天の星空観測（石垣島）

特集 多良間島でも国営かんがい排水事業が始動！

(令和8年度)

1. 多良間島の状況

多良間島は、宮古島と石垣島のほぼ中間に位置し、さとうきびを中心に、かぼちゃ等を組み合わせた畑作経営のほか、飼料作物を栽培し肉用牛を飼養する畜産経営が展開されています。



しかし、島には河川がなく、農業用水は主に降雨に依存しているため、生産性が低い不安定な農業経営を余儀なくされており、農業振興の妨げとなっています。

2. 事業化への取組

多良間島において、畑地かんがい施設を整備し、農業用水を確保することにより、農業生産性の向上と農業経営の安定化を図るため、沖縄総合事務局では、地下水の観測や施設的设计等、国営かんがい排水事業を実施するための各種取組を実施してきました。

職員による取組例



出前授業の様子



推進協議会の様子

3. 事業効果とその発現に向けた取組

国営事業による農業用水の安定供給や畑地かんがい施設の整備により、①さとうきびの単収増加により少ない栽培面積での目標生産量の達成や、②かん水時間の節減に伴う余剰労働時間の創出による収益性の高い園芸作物への転換等の効果が見込まれ、地元の方々もこの事業に対して大きな期待を寄せています。



多良間島の全景

これらの効果を発現するには、事業により造成される施設を適切に維持管理し、営農実証を通じて栽培技術の定着を図るための営農推進活動が重要です。沖縄総合事務局として、施設の維持管理や営農推進の体制構築に向け、今後とも沖縄県や多良間村等の関係機関と協力しながら、それに必要な取組を継続的に実施していくことにしています。

【国営事業の概要】

◇受益面積：758ha (畑)

◇主要工事：

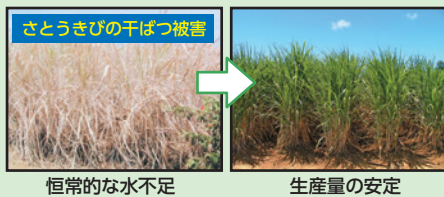
- (1) 集水池 (新設) 3か所
- 集水池 (改修) 2か所
- 既設利用 5か所
- (2) 地下水取水施設 (井戸) 20か所
- (3) 揚水機場 (ポンプ場) 10か所
- (4) ファームポンド (貯水タンク) 1か所
- (5) 用水路 24km
- (6) 水管管理施設 一式

発現が見込まれる事業の効果

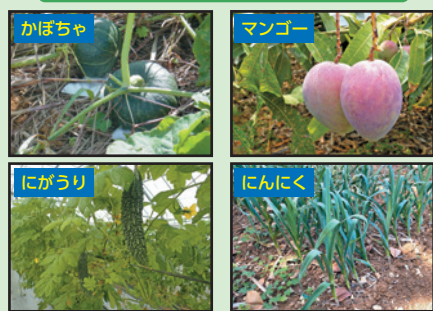
①かん水作業の省略化



②生産量の安定



③園芸作物への転換



園芸作物 (露地栽培・施設栽培) への転換・拡大

事業に期待する地元の声



多良間島で農業を営み、将来の夢を語る 吉村俊氏

地域おこし協力隊員として多良間島に赴任し、多良間島の営農実証ほ場の管理等に従事してきました。島で新規就農し、令和7年度からかぼちゃ55アール、島らっきょう15アールなどを栽培しています。

この度、国営事業が始まることで、さとうきび以外の園芸作物の栽培にも取り組めるようになるので、「多良間島の農業が変わるのでは」と大いに期待しています。事業を契機にスマート農業を推進し、将来は民宿やカフェを手がけて多良間島ならではの「農泊」も展開したいと思っています。



大学生が将来のために 「財政」、「金融」について考える

～in 琉球大学・沖縄国際大学～

財務部では、学生や子育て世代をはじめ、全ての世代の皆さまが安心して豊かな暮らしを実現できるよう、財政・経済・金融について学べる出前講座を実施しています。

本ページでは、令和7年11月28日に琉球大学(受講者数・約120名)、12月12日に沖縄国際大学(受講者数・約130名)で行った財政・金融の講義についてご紹介いたします。

1. 財政講義

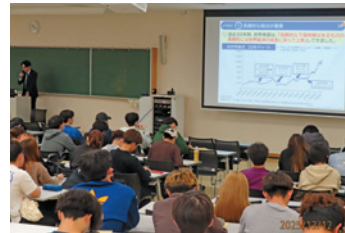
講義の冒頭では当部の業務内容に加え、講師が財務本省や金融庁で携わった業務紹介を通じ、沖縄以外でも幅広い活躍の場がある事を紹介しました。

続いて「これからの日本のために財政を考える」と題して、2025年度の予算を例にして、「一般会計の歳入・歳出構造を説明しました。特に、30年前と比べ社会保障費が大きく増加し、歳出の約1/3を占めるに至った要因や、税収不足を補うため国債発行が増加している現状を解説しました。

さらに、社会保障の取扱いが異なるアメリカとフランスの様子について寸劇を交えて紹介し、日本の社会保障を諸外国と比較すると、「給付」に対して「負担」が相対的に低い状況にあることを説明し、今後、社会全体で議論を深める必要性を学生へ伝えました。

また、当部が財政融資資金を貸付している地方公共団体に対し、貸し手の

立場から財政健全性を点検する「財務状況把握」についても説明し、普段知る機会のない県内自治体の財政状況についても事例を示し、説明しました。



若手職員による金融広報講義の様子(沖縄国際大学)



財政講義の様子(琉球大学)

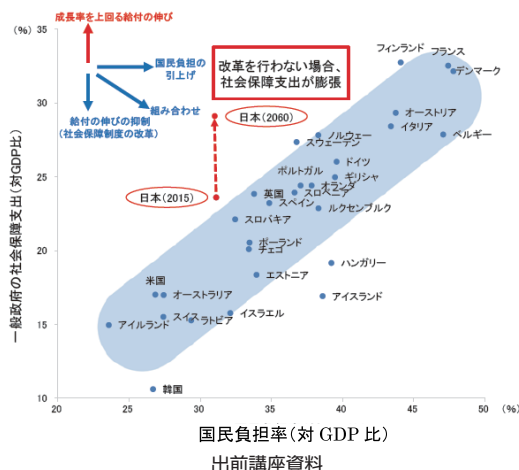
2. 金融講義

続いて金融の講義では、資産形成の基本である「長期・積立・分散」の考え方を、預貯金や投資の違いとともに分かりやすく紹介し、併せて、投資詐欺や多重債務、闇バイトなど、身近な金融トラブルへの注意点を解説しました。

3. 受講後アンケートより

受講後のアンケートでは、
・高齢化により社会保障費が増加し、その負担を現役世代が支えている事を知り、財政の問題が自分達の将来に深く関わっている事を実感した。
・1129兆円の借金の返済には、GDPを伸ばす事も大切だと感じた。

8. OECD諸国における社会保障支出と国民負担率の関係



・財務状況の把握について、現地ヒアリングを実施し、その効果を分析し確認していることを知り、しっかり仕事しているなと感じた。
・お金を増やすには、貯蓄や投資等があるが、投資は貯蓄に比べリターンも高いが、その分リスクもある事が理解できた。
・など様々な意見が寄せられました。
・当部では、教育機関と連携し、若年層に向けた出前講座を実施していく予定です。出前授業については、左記のお問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先
財務部 財務課(地域連携担当)
2098-1866-0091

おきなわ

花と食のフェスティバル2026が 開催されました!

農林漁業の経営改善や技術の近代化等で功績があった農林漁業者や団体を選定する「沖縄県農林漁業賞」の表彰式と、農林水産業と関わりをもち、地域が誇れる魅力あるふるさとづくりに取り組んでいる団体を認定する「沖縄、ふるさと百選」の認定式が行われ、当局からは泉次長が出席し、祝辞を述べました。

「沖縄県農林漁業賞」表彰式、「沖縄、ふるさと百選」認定式

「おきなわ花と食のフェスティバル」は、「地産地消」をテーマとし、県産農林水産物の消費拡大及び生産振興を図ることを目的に開催される県内最大規模の農林水産関連イベントです。今年は1月24日、25日に奥武山公園で開催されました。表彰式や品評会、新鮮な県産野菜の販売など多くの催し物が行われ、両日で約17万人が訪れました。県産農林水産物やその加工品を多くの方に知って、味わっていただくべくきつかけとなりました。



▲開会式典の様子

「おきなわ花と食のフェスティバル」は、「地産地消」をテーマとし、県産農林水産物の消費拡大及び生産振興を図ることを目的に開催される県内最大規模の農林水産関連イベントです。今年は1月24日、25日に奥武山公園で開催されました。表彰式や品評会、新鮮な県産野菜の販売など多くの催し物が行われ、両日で約17万人が訪れました。県産農林水産物やその加工品を多くの方に知って、味わっていただくべくきつかけとなりました。

各種品評会等表彰式

花き品評会、フラワーデザインコンテスト、野菜品評会、果樹品評会、野菜・花き産地活動、園芸拠点産地の計6つの表彰式が行われました。575点の出品物から高い栽培技術等が認められた37点に特別賞が贈られました。当局からは、渡邊農林水産部長が出席し、祝辞を述べるとともに、表彰状を授与しました。



▲「沖縄県農林漁業賞」表彰式



▲「沖縄、ふるさと百選」認定証交付式



▲賞状授与の様子

お問合せ先

農林水産部 農政課

☎098-866-1627

農林水産部 生産振興課

☎098-866-1653

○沖縄県農林漁業賞受賞者

部門	受賞者名	市町村	主な品目
農産	砂川 明寛	宮古島市	さとうきび
	赤嶺 彰一	豊見城市	果樹（マンゴー）
園芸	久保 弘美	宮古島市	野菜（オクラ、タマネギ）
	下地 堅士朗	宮古島市	野菜（ゴーヤー、オクラ）
	島袋 孔夫	伊江村	花き（モンステラ、タニワタリ、ドラセナ）
畜産	渡久地 政和	伊江村	花き（スプレーマム、ユリ）
	中部地区和牛改良組合	沖縄市	肉用牛
土地改良	石垣島地区農地・水・環境保全管理協定運営委員会	石垣市	農業農村整備事業の推進と管理
漁業	仲本 博一	宮古島市	モズク養殖、ヒトエグサ養殖
農山漁村地域活性化	うるま市農漁村生活研究会	うるま市	地域の農水産物を活用した加工品づくりや食育活動等による食文化の継承
	伊江村生活研究会	伊江村	地域の素材や文化を生かした農業の6次産業化

○「沖縄、ふるさと百選」認定団体

部門	市町村	団体名	認定名
交流	大宜味村	NPO 法人おおぎままるごとツーリズム協会	人と自然と文化が響きあう大宜味村のふるさとづくり

○園芸フェア品評会等受賞者（一部ご紹介）

品評会等	賞	受賞者名	品目名等
花き	農林水産大臣賞	知花 貫徹	小ぎく
	農林水産省農産局長賞	新城 究	ドラセナ
	沖縄総合事務局長賞	金城 久美子	ストレリチア
フラワーデザイン	沖縄総合事務局長賞	金城 麻由美	一般の部
	農林水産大臣賞	久保田 琢	きゅうり
野菜	農林水産省農産局長賞	上地 美香	さやいんげん（関東）
	沖縄総合事務局長賞	伊森 雅人	大型ピーマン
	沖縄総合事務局長賞	諸見謝 慎	中型ピーマン
果樹	農林水産省農産局長賞	東恩納 ナツ	タンカン
	沖縄総合事務局長賞	比嘉 晴菜	パッションフルーツ
	沖縄総合事務局長賞	山城 弘一	タンカン

窓

仕事の

沖縄の冬の風物詩
「ムーチャー」について

沖縄総合事務局消費・安全課では消費者の方々に食への関心を高めていただくため、食に関する情報を幅広く発信しています。

沖縄の冬の風物詩の一つである「ムーチャー」。沖縄では、旧暦の12月8日にムーチャーを食べる習わしがあります。ムーチャーは餅を月桃の葉で包み独特の風味があるのが特徴です。今回はムーチャーについて食品事業者や関係者にお話を伺いました。

ムーチャーの原料について

原料の変遷について「南城市うぶざと又ムーチャー祭実行委員会」にお話を伺いました。「戦前は各家庭の田で栽培したもち米を使用していました。戦後、さとうきび栽培の拡大に伴い田が減少し、国内のもち米からタイ産もち米に代わり、現在は、タイ産もち粉も使用されています」とのことです。また、もち粉の取扱業者によると、30年以上前からタイ産もち粉の輸入があったとのこと。今では、紅いもや黒糖などが入ったミックスもち粉も販売され、色々な味のムーチャーが楽しめます。

ムーチャー製造工程

(沖縄市の上間モチ店)

タイ産もち米を原料としたムーチャーを製造・販売している沖縄市の上間モチ店に、ムーチャー作りの製造工程を伺いました。

社長の上間氏によると「もち米から作ったムーチャーはコシがありおいしい」と消費者及び販売先に評判が良かったため、ムーチャーの時期(旧暦の12月1日〜8日)及びその時期から1ヶ月までの間は、もち米を原料としたムーチャーを製造しています。製造工程は、ムーチャーを販売先等に納品する4日前(ムーチャーの時期以外は前日)から行います。洗米したもち米を3〜4時間ほど水に浸し、そのもち米を臼(昔は石臼、現在は機械)で水挽き(水に浸したもち米を粉碎)します。この水挽きの工程がムーチャー製造の特徴です。水挽き後、冷蔵庫に1日寝かせ水分を抜きます。その後、ミキサーで混ぜ、成形機にかけて、月桃の葉で包み蒸して完成です」とのことです。

ムーチャー祭(南城市うぶざと又ムーチャー祭実行委員会)

ムーチャーを後世に継承する取組を行っている「南城市うぶざと又ムーチャー祭実行委員会」をご紹介します。

ムーチャー祭は、旧大里村の商工会が村おこし事業の一環で平成9年から行われ、南城市として合併後、一時休止されました。平成27年に「南城市うぶざと又ムーチャー祭実行委員会」の設立を機に復活し現在に至ります。祭りは毎年12月第2日曜日に開かれ、ムーチャーづくりの体験コーナーや昔ながらのクバの葉で包んだムーチャー(力(ちから)ムーチャー)の販売もあります。

タイもち米を原料とした製法(沖縄市の上間モチ店の取組)



① 洗米したもち米を水に3〜4時間浸す



② 水挽きする。水挽き後のもち粉は水分と混ざった状態のため、冷蔵庫に1日寝かせ水分を抜く。



③ 冷蔵庫で水分を抜いたもち粉に水を含ませ、ミキサーで混ぜる



④ もちを成形機にかける



⑤ もちを月桃の葉で包む



⑥ もちを蒸し器で1時間ほど蒸して完成

本委員会によると、兄妹の物語「大里鬼」にあるように、旧暦12月8日、現在の南城市大里西原地区において餅で鬼を退治したと伝えられており(諸説あり)、今では健康祈願、厄払いの行事として行われているとのことです。

沖縄総合事務局では、今後も食品に関する情報を消費者の皆さんに情報発信をしていきますので、当局HPや当局公式SNSをご覧ください。

お問合せ先

農林水産部 消費・安全課

☎098-866-1672

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の 選定地区をご紹介します

第12回「ディスカバー 農山漁村(むら)の宝」

内閣官房及び農林水産省は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の地域資源を活用した地域の活性化や、所得向上に取り組んでいる優良事例を「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として選定しています。今年度は、有識者懇談会において、全国応募総数454件から30地区が選定され、沖縄県内の「(株)日本バイオテック」が特別賞を受賞しました。受賞団体は、令和8年1月20日に総理大臣官邸で開催された交流会に出席し、内閣官房長官や農林水産大臣等の出席者に対して、取組内容を紹介する等、交流を深めました。



受賞団体と木原内閣官房長官らとの記念撮影



特別賞を受賞



受賞団体との交流会にて
海ぶどう商品をPR

株式会社日本バイオテック
「海ぶどう」で新たな価値を地域と共に創造！

養殖だけでなく、海ぶどうの収穫体験、塩作り、サバニ体験など多様な観光コンテンツを提供。さらに規格外品を活用した商品開発や就労支援施設と連携した農福連携など、地域と一体となった複合型の体験施設運営を展開しています。また、賞味期限が2年間の塩水海ぶどうを開発したことにより、海外15カ国への輸出を実現。「グリーンキャビア」として国内外からの注目が高まり、観光と水産の両面で地域に経済効果を生みだしています。



女性・高齢者・就労支援、誰でも活躍できる環境づくりに取り組んでいる

中には、全国で選定された取組以外にも優れた取組があることから、沖縄独自の特徴ある取組について、令和7年度「沖縄総合事務局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として、「徳元佳代子氏」を選定し、令和8年1月22日に選定証授与式を行いました。

徳元佳代子(糸満市)
「農・人・食・島野菜を未来に繋ぐ」

沖縄県産農産物の魅力や使い方伝える野菜塾や収穫体験イベント等を開催。伝統的農産物を絶やさないよう魅力やレシピを考案し伝承に努めています。また、農薬の使用を極力減らす工夫やバガス(さとうきびの絞りかす)・堆肥の活用、地力・景観の保持に努め、新規就農者へも技術やノウハウを伝えていきます。さらに、日本野菜ソムリエ協会の地域校を運営し、12年で219人の野菜・果物の専門家を輩出してきました。



伝統的農産物の使い方講座や
野菜ソムリエ資格者の育成を行っている

沖縄総合事務局

「ディスカバー農山漁村の宝」を選定！

沖縄県内から応募のあった事例の

お問合せ先

農林水産部 農村振興課

☎098-8666-1652



中小企業活性化フォーラム

経営危機を乗り越える、
経営改善と事業再生への挑戦



中小企業活性化協議会

現在、沖縄県内の中小企業・小規模事業者は、コロナ融資の返済に加え、原材料価格の高騰、人手不足など厳しい経営環境に直面しています。そこで、経営環境に不安を抱える事業者の円滑な支援を促すため、令和8年2月3日、中小企業振興会館にて「中小企業活性化フォーラム」を開催しました。

前半は、中小企業庁の取組や沖縄県中小企業活性化協議会（以下、活性化協）の支援状況について説明し、実際に活性化協を活用して経営改善に取り組んだ（株）ハッピーフィールド代表取締役の福原英一氏、農業生産法人（株）クックソニア代表取締役の芳野幸雄氏に、活性化協を利用したきっかけや経営改善の取組についてご講演いただきました。

後半のトークセッションでは、活性化協統括補佐の内間春奈氏をファシリテーターに、福原氏、芳野氏、そして支援者であるおきなわ経営サポート（株）の神谷繁氏、うりずん経営パートナーズの瑞慶山大氏が登壇し、活性化協に相談する前後での心

境の変化や経営改善・事業再生に早期に取り組む重要性について意見が述べられ、活発なセッションとなりました。今後関係機関と連携し、経営改善・事業再生の支援に取り組んでまいります。



県内事業者、支援機関等から約80名が参加



トークセッションの様子

経営改善・事業再生に関するご相談はこちらから
(沖縄県中小企業活性化協議会HP)



お問合せ先

内閣府沖縄総合事務局
経済産業部 中小企業課

☎098-8666-1755



沖繩のくらしは、 船に支えられている

「海事教室」 in 若狭小学校

沖繩のくらしを支える海上輸送。その大切さを学ぶ「海事教室」を、令和7年12月22日若狭小学校の5年生を対象に開催しました。

当日は、沖縄水産高等学校の先生および生徒を講師に招き、日本の物流や海運の役割、船員の仕事について分かりやすく学びました。

座学による事前学習に加え、久米商船（株）のご協力のもと、泊港に停泊中のフェリーを実際に見学。船内や車両甲板を間近で体験し、海上輸送の重要性を実感しました。

参加した児童からは「船がたたくさんの人や物を運んでいることがよく分かった」「こんなに大きな船の中を見られて驚いた」といった声が聞かれ、実体験を通じた学びの多い一日となりました。

今後海事教室の開催を通じて、子どもたちが海や物流、そして将来の仕事について考えるきっかけとなるよう取り組んでまいります。



座学の様子



船橋の見学



車両甲板の見学

お問合せ先

運輸部 総務運航課

☎098-8666-1836

県内2団体、国土交通大臣が表彰 「わった〜バス党」、 「伊江島観光バス」

交通関係優良団体大臣表彰

国土交通大臣は、令和7年12月15日、地域公共交通や環境保全に関する活動を行い、顕著な功績があった14団体を国土交通省にて表彰しました。表彰団体は、地方運輸局等の推薦に基づき、有識者で構成する委員会での選考を経て決定しております。

沖縄県内からは、県民のバス利用を促す県の広報活動「わった〜バス党」が地域公共交通部門で、EVバス導入を推進する「伊江島観光バス(株)」がグリーン経営部門で受賞しました。

わった〜バス党(地域公共交通部門)

沖縄県民の過度な自家用車利用から路線バス利用への転換を促進するため、沖縄県が中心となり、企業・団体が参画して平成24年に「わった〜バス党」を発足し、テレビCM、ラジオ番組、新聞、SNS等を通じて路線バス利用をPRしました。これまでにバスレーン延長、バスマップ作成、バスロケーションサービス導入や、令和6年9月には毎週水・日曜日の計8日間、バス無料乗車体験事業を実施するなど、路線バスの利用促進へ様々な施策を展開してきた。

しており、これら地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んできた功績が表彰されました。



わった〜バス党の受賞の様子
(左から) 酒井庸行国土交通副大臣、大城肇沖縄県副知事、加藤竜祥国土交通大臣政務官

交通関係優良団体大臣表彰
地域公共交通部門について



伊江島観光バス(株)(グリーン経営部門)

世界自然遺産に登録されたヤンバルの自然環境保護と観光振興の両立を図るため、伊江島観光バス(株)は日本で初めて観光用EVバスを導入しました。令和7年7月時点で、単独事業者では県内最多となる16台の

EVバスを運行し、また、他の事業者のEVバス導入についても支援を行い、県内バス業界におけるEVバス普及に貢献しております。さらに関係団体と連携し各種エコツアーを創成することにより、自然環境の保護とともに沖縄の自然が有する価値の周知・向上を図ってきた功績が表彰されました。



伊江島観光バス(株)の受賞の様子
(左から) 酒井庸行国土交通副大臣、伊江島観光バスの山城克己社長、加藤竜祥国土交通大臣政務官

交通関係優良団体大臣表彰
グリーン経営部門について



お問合せ先

運輸部 企画室

☎098-866-1812

窓

仕事の

将来の船員として活躍を期待！

～中高生を対象に就業体験・体験学習を実施～

Point



沖縄海事産業人材確保・育成推進協議会（事務局・沖縄総合事務局運輸部）は、若年内航船員の人材確保・育成のため、高校生・中学生を対象にバリエーション豊かな取組を行っています。

四面を海に囲まれた我が国において、船舶による海上輸送は、国民生活や経済活動、観光振興等に欠かせないものとなっている中、今後の安定的な海上輸送を確保するにあたっては、海上輸送を担う船員の安定した確保・育成が必要不可欠です。

全国的な内航船員の年齢構成を見ると、50歳以上の割合が2024年で43・6%と全体の4割程度と高い状況を占める状況にあります。若年内航船員確保のための取組が進められ、近年は若年層が徐々に増加しております。

海上輸送を維持・発展させていくためには、若年内航船員のみならず海上輸送を担う優秀な人材を継続的に確保していくことが重要です。

沖縄県においても全国と同様の傾向があるため、沖縄海事産業人材確保・育成推進協議会では、内航船員の仕事に興味を持つきっかけを作り、将来、職業として内航船員を選択してもらおうため、各種取組を行っています。

高校生に対する取組としては、令和7年7月から9月にかけて宮古総合実業高等学校の生徒を対象に、県内の船舶運航事業者の協力を得て、内航船（RORO貨物船、旅客フェリー）にて「就業体験」を実施しました。

参加した生徒からは、「内航海運の仕事に魅力を感じた」「卒業後の進路先として内航船員に興味関心が持てた」などの感想がありました。

中学生に対する取組としては、令和7年8月13日に沖縄本島、11月10日には宮古島、令和8年1月21日には西表島にて、沖縄水産高等学校、宮古総合実業高等学校、八重山観光フェリー（株）などの協力を得て、中学生のほか、保護者や教員も対象に、船員の仕事や資格についての説明、実習船や旅客船の見学などの「体験学習」を実施しました。

参加した生徒からは「この体験学習で船員の仕事に興味を持った」「船員さんになるための資格や学校があることを知った」という声もありました。

運輸部では今後とも、若年内航船員の人材確保・育成に向けた取組を積極的に推進していきます。

お問合せ先

運輸部 船舶船員課

☎098-866-1838



体験学習の様子（船橋見学）



体験学習の様子（ロープワーク）



体験学習の様子（集合写真）



就業体験の様子（機関制御室）

黄川田大臣の沖縄訪問(令和8年1月13日～14日)

黄川田沖縄担当大臣は、令和8年1月13日から14日に沖縄北部地域を訪問し、沖縄科学技術大学院大学(OIST)、豪雨災害により被災した比地大滝キャンプ場等を視察しました。



比地大滝キャンプ場 視察



沖縄科学技術大学院大学(OIST) 視察

沖縄の知られざる魅力が満載! ～OKINAWA41～

内閣府では、沖縄の知られざる魅力を発信するサイト「OKINAWA41」を運営しています。沖縄で使われる方言(うちなーぐち)の紹介や、大学生によるレポートなど、多彩な情報を掲載しています。さらにSNSでも、美しい沖縄の風景やイベント情報を随時発信中です。Instagramでは、県内大学生が制作したリール動画も公開していますので、ぜひご覧ください。



OKINAWA 41

知られざる沖縄の魅力を発見

グルメ

沖縄と豚文化①-「命どう宝」を食卓から考える

「豚は鳴き声以外、すべて食べる。」この言葉を聞いたことがありますでしょうか。沖縄では古くから豚は特別な存在で、祝いの席に... [続きを見る]



オススメの記事

ジャングリア沖縄
体験レポート等も掲載!

URLはこちら → <https://www.okinawa41.go.jp/>
以下の二次元コードから各SNSをご覧ください。

OKINAWA41 検索

◆OKINAWA41サイト



◆Facebook



◆X (旧Twitter)



◆Instagram



すべての荷主事業者、物流事業者の皆さまへ 物流効率化法が改正されました！

物流は国民生活・経済を支える社会インフラです。物流の持続性確保に向け、荷主企業にも物流効率化への取組が求められています。さらに、**一定規模以上の事業者は特定事業者として義務が発生**しますので、ぜひチェックしてください。



物流効率化法ポータルサイト

- 政府目標 (2028年)**
- ✓ **トラックドライバーの年間125時間の拘束時間の短縮**
(1回の受渡しごとの荷待ち時間等1時間以内など)
 - ✓ **全体の車両で積載効率44%に増加**
(5割の車両で積載効率50%を実現など)

すべての荷主・物流事業者等の努力義務 ※2025年4月1日施行

荷物を出す人（発荷主）も受け取る人（着荷主）も物流効率化に向けた取組が必要です。

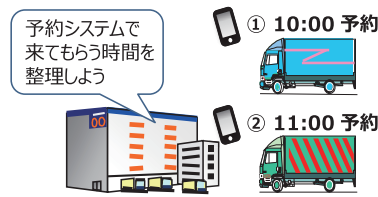
① 積載効率の向上等

共同配送、リードタイムの確保
繁閑の平準化、納品日の集約
配車・運行計画の最適化 等



② 荷待ち時間の短縮

トラック予約受付システムの導入
混雑を回避した日時指定 等



③ 荷役等時間の短縮

パレットの導入による荷役等の効率化
商品識別タグの導入による検品の効率化
フォークリフトや作業員の適切な配置や作業環境の整備 等



特定事業者の指定と義務 ※2026年4月1日施行

令和7年度における重量算定において、以下の基準を満たす事業者は**特定事業者**として指定されます。

荷主・連鎖化事業者

取扱貨物の重量 年**9万トン**以上

特定荷主・特定連鎖化事業者

倉庫業者

貨物の保管量 **70万トン**以上

特定倉庫業者

貨物自動車運送事業者等

保有車両台数 **150台**以上

特定貨物自動車運送事業者等

特定事業者の基準を満たす場合は、2026年5月末までに所管省庁宛に貨物等の取扱状況の届出が必要です。また、特定事業者は国からの指定後、以下の義務が発生し、対応が不十分な場合は、国から勧告・命令等が実施されます。



物流統括管理者の選任

役員等の経営幹部から選任
※特定荷主及び特定連鎖化事業者のみ



特定事業者の指定後すみやかに
※指定時のみ



中長期計画の策定、提出

努力義務事項を踏まえた物流効率化への取組計画を5年以内で策定し提出



初回：2026年10月末
以降：基本毎年度7月末



実施状況の定期報告

努力義務事項への対応状況や荷待ち時間の計測を行いその結果を報告



初回：2027年7月末
以降：毎年度7月末

【お問合せ先】

内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 商務通商課 TEL 098-866-1731 (荷主・連鎖化事業者)

内閣府沖縄総合事務局 運輸部 総務運航課 TEL 098-866-1836 (倉庫業者)

〃

陸上交通課

TEL 098-866-1836 (貨物自動車運送事業者等)

金融庁 Financial Services Agency

沖繩総合事務局 内閣府

GLOBAL MONEY WEEK

入場無料

ワニサと学ぶ 未来のためのお金の教室

in 沖繩

2026年3月14日(土) 10:00~16:30
イオンモール沖繩ライカム (1F グランドスクエア)

出演者

メンバー

カンスオレシジ

ワニサ



ステージショー

- ★ 13:00~13:45
ワニサ 襲来!?
お金の知識で世界を平和に!?
- ★ 14:40~15:20
学ぼう! お金の知識
みんないっしょに幸せ家族
- ★ 16:00~16:30
うんこお金ドリル 生活編

体験ブース

協力企業・団体もいろんなブースを出展予定
楽しみながらお金について学べるよ!

ブースのみ
の参加も
OK!

ミニ講義プログラム

開催時間は
イベントホームページ
を見てね!

- ★ 当日10時よりミニ講義ブースにて整理券配布 (全5回 各回定員16名)
マインクラフトで学ぶ
クエスト・オブ・ファイナンス
~勇者の武器はお金の知識~
※NOT OFFICIAL MINECRAFT PRODUCT. NOT APPROVED BY OR ASSOCIATED WITH MOJANG (SMBCグループ提供) ※推奨学年 小学5年生以上
- ★ 12:25~12:55
うんこお金ドリル 経済編
~クイズに挑戦しながら、世の中のお金の動きを学ぼう~
※推奨学年 小学4~6年生 (定員16名・先着順)

イベントの
詳細については
こちらから!



金融庁ワニサの 金融経済教育

みんな~
お金のこと
話そうよ!

●イベントは動画撮影を予定しております。お客様の映り込みの可能性がございますので、予めご了承ください。●コンテンツによっては、ビデオカメラ、または携帯電話等での録音・録画・撮影・配信はご遠慮いただく場合がございます。●イベント内容、出演者やスケジュールは、予告なく変更になる場合がございますので、ご了承ください。●本イベント内の発言は個人の意見であり、金融庁、沖縄総合事務局及び吉本興業株式会社の見解ではありません。本イベントの内容に基づいて被ったいかなる損害についても、主催及び吉本興業株式会社はその責任を負うものではありません。

「ワニサと学ぶ未来のためのお金の教室」事務局
wanisa-caravan@yoshimoto.co.jp
(平日10:00~18:00 / 土日祝・年末年始を除く)

後援: 沖縄県 沖縄県教育委員会 沖縄市教育委員会 北中城村教育委員会 日本銀行那覇支店

公式Website
沖繩総合事務局
https://www.ogb.go.jp



公式X
@okisokyoku



公式Facebook
@okisou.naikakufu



公式YouTube
@user-
ws3tz3zr3x

